

大阪教育大学

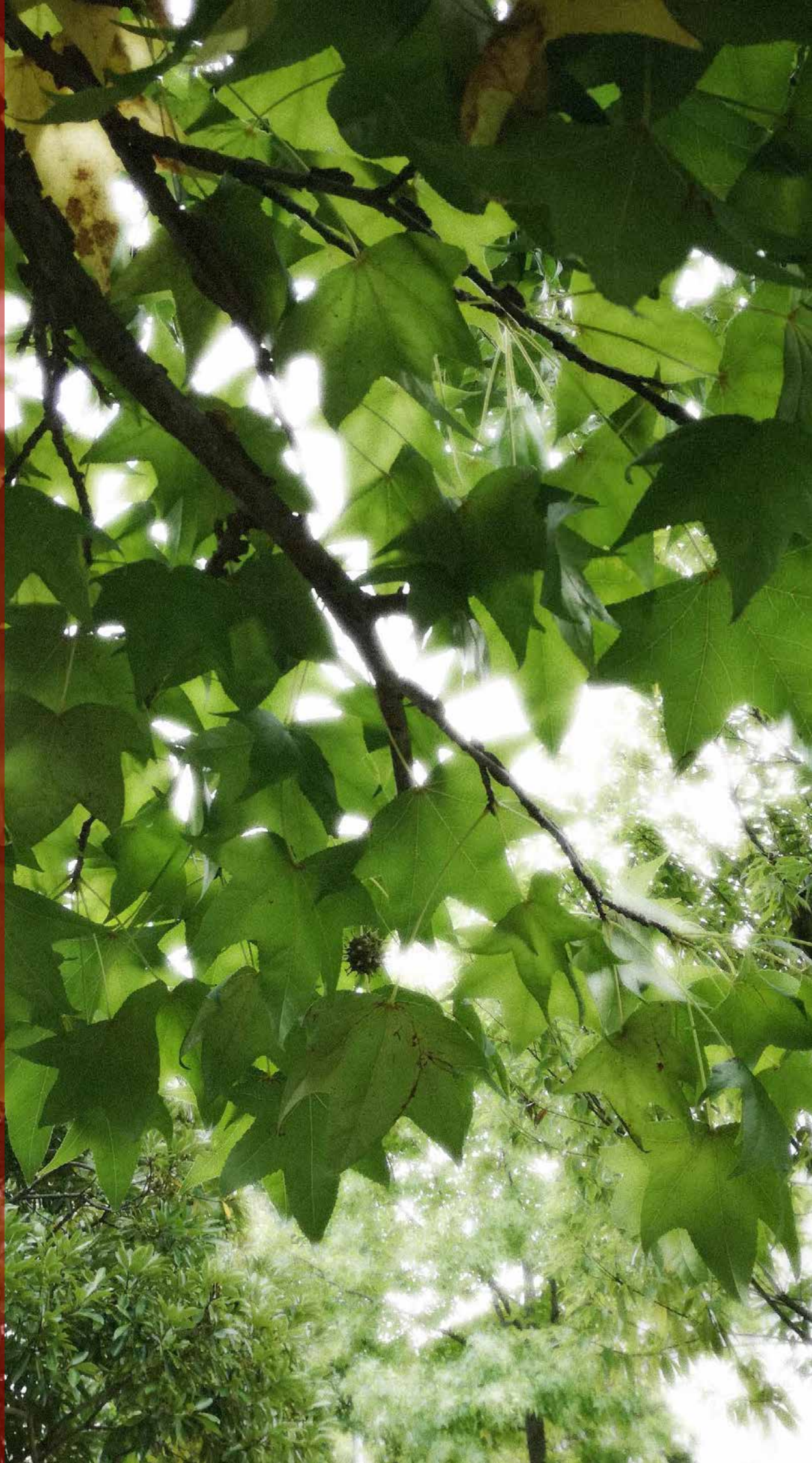
国立大学法人

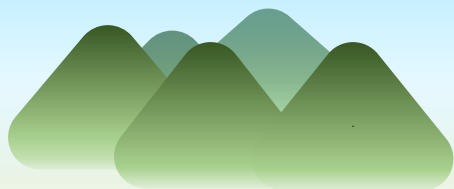
環境報告書

2017



OSAKA KYOIKU
UNIVERSITY





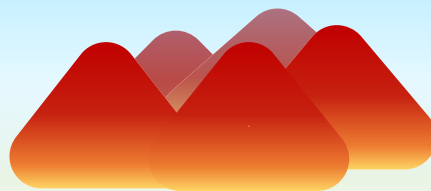
もくじ

▲ 1	学長挨拶	1ページ
▲ 2	環境方針、大阪教育大学環境報告書2017の作成にあたって	2ページ
▲ 3	環境マネジメント組織	3ページ
▲ 4	大学概要	4～7ページ
▲	・大阪教育大学各キャンパス	5ページ
▲	・団地の所在地	6ページ
▲	・柏原キャンパスマップ配置図	7ページ
▲ 5	環境配慮実施計画（平成28年度の実施計画、評価）	8ページ
▲	環境配慮実施計画（平成29年度の目標）	9ページ
▲ 6	マテリアルバランス	10ページ
▲ 7	環境負荷データ	11～13ページ
▲ 8	環境マネジメント活動の推進	14～23ページ
▲	・環境教育、研究活動の取り組み	14ページ
▲	・学内での取り組み	15ページ
▲	・環境保全活動の状況	16～17ページ
▲	・安全安心への取り組み	18～19ページ
▲	・地域社会への取り組み	20～21ページ
▲	・大学生協での取り組み	22～23ページ
▲ 9	第三者意見	24ページ
▲ 10	環境報告書ガイドライン対応表	25ページ

表紙について

体育館（P棟）前の歩道にある「モミジバフウ（紅葉葉楓）」です。
樹皮が翼状に発達し、枝先にぶら下げた実は不思議な形をしています。
風に揺られ、翼のついた種子が遠くへ飛び立っていきます。
秋には、葉の色が緑→橙→赤→紫と変化し、紅葉した美しい姿をみせてくれます。
「モミジバフウ（紅葉葉楓）」フウ科フウ属の落葉高木

学長挨拶



大阪教育大学は1874年の教員伝習所設立以来、140年を超える歴史の中で、教員養成を中心とした教育によって高い評価を受けてきました。とりわけ本学が重視し、注力してきたことは、広い教養を背景とする高度な専門知識の習得と、教育現場を中心とする様々な職業分野における実践力の養成です。その伝統に基づきつつ、長年にわたり、教育界や社会に貢献する人材を数多く輩出してきました。

実践型の教員養成及び教育・学習支援分野への人材養成を使命とする本学において、どの分野においても、環境マインドを持った人材を養成することは非常に重要な意義があります。本学ではこの環境報告書で紹介する様々な取り組みを実践しておりますが、そうした取り組みを行う中で、本学の学生がここで学んだことを次の子供たちの世代へと伝えていく、環境マインドを継承していくという好循環が実現することを願っています。そのために、大学としては教育面や運営面において、ソフト・ハードともに、様々なプログラムを実施していきたいと考えております。

また現在、世界ではSDGsとパリ協定が大きな動きとなっておりますが、こうした国際的な動向にコミットするため、大学間ネットワークを組んで、教育研究活動やキャンパスにおける環境配慮活動等を通じて、地球温暖化対策に貢献しようという動きが世界中の大学に広がっています。本学も今年度、この分野における日本の大学間ネットワークであるサステイナブルキャンパス推進協議会（CAS-Net JAPAN）に加盟しました。今後は本学もこの大学間ネットワークを通じて、他大学の先進的な取り組み事例に学び、採用できることは積極的に採用し、地球温暖化対策に貢献していきたいと考えております。

最後に、本学の学生・教職員の皆様には、ぜひとも学内外で行われる環境への取り組みに積極的にご参加いただき、環境マインドを培って頂くことを期待しています。また、ステークホルダーの皆様には、これからも本学へのご指導ご鞭撻をお願いいたします。



国立大学法人大阪教育大学長

粟林澄夫

環境方針

■ 基本方針

大阪教育大学は、地球環境の保全が大きな問題であることを真摯に受け止め、教育研究及びあらゆる活動を通じて、地域を含めた良好なキャンパス環境の維持保全に努めます。
また、教員養成系大学として高い学識と豊かな教養をもち、環境問題に理解のある人材を育成します。
このため、特に次の事項について推進して行きます。

1. 省エネルギー、廃棄物の抑制、資源の再利用、環境汚染防止等全ての環境負荷の低減に継続的に取り組みます。
2. 美しく豊かなキャンパス環境の実現に向けた緑化整備、環境美化等について、全ての大学構成員の参加によるプログラムを推進します。
3. 環境に関する法令を遵守し、さらに自主管理規程を制定し、大学の社会的責任を果たします。
4. この基本方針を達成するため、環境配慮目標を設定し、環境情報を提供するなど、全ての大学構成員により、環境保全に取り組みます。
5. この方針は、BBS（電子掲示板）をもって全構成員に周知するとともにインターネットのホームページを用いて、広く社会に開示します。

平成29年9月
国立大学法人大阪教育大学
学長 栗林 澄夫

大阪教育大学環境報告書2017の作成にあたって

■ 作成方針

「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律（環境配慮促進法）」の施行により、平成18年度より大阪教育大学では、環境報告書を作成、公表してまいりました。大阪教育大学は平成16年4月に法人化し、国立大学の自律的な運営が求められる中、省エネの取り組み、古紙のリサイクル等環境負荷削減に取り組んでまいりましたが、なお一層の努力が必要であると考えております。大阪教育大学環境報告書2017は、本学の教職員、学生のみならず、本学の卒業生、OB・OG、本学への入学を希望されている方々、保護者及び近隣住民等のステークホルダーに対して、平成28年度の大阪教育大学の環境についての現状を報告するものとして作成いたしました。

報告書の対象範囲
大阪教育大学柏原キャンパス

報告書の対象期間
平成28年度（2016年4月～2017年3月）
※但し一部内容については2017年6月までの内容を含む。

参照ガイドライン等

- ・「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律」に基づく「環境報告書の記載事項」
- ・環境省「環境報告書の記載事項等の手引き」
- ・環境省「環境報告ガイドライン（2012年版）」

発行年月
平成29年9月

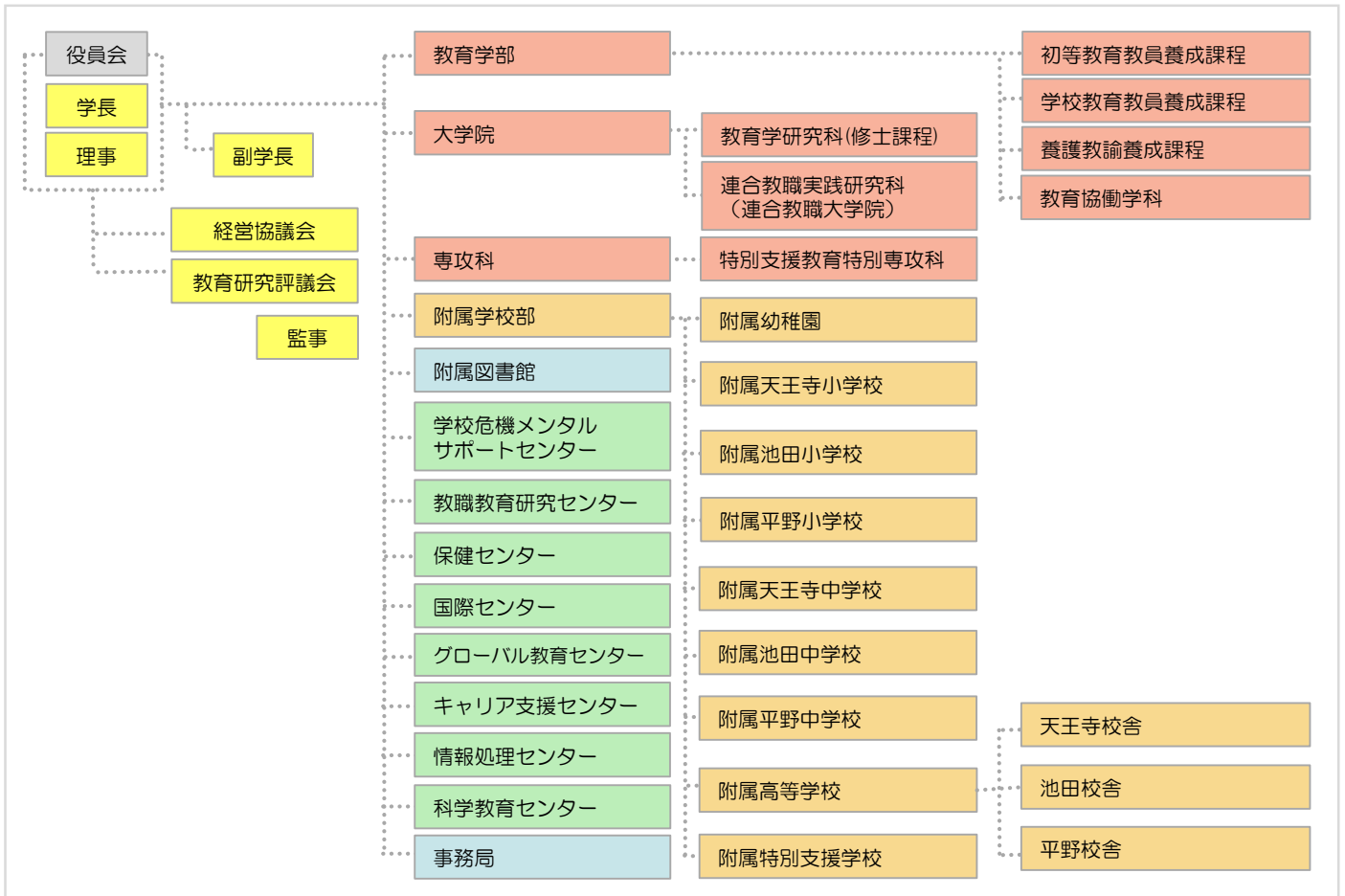
次回発行予定
平成30年9月

大学概要

大阪教育大学は、1874年（明治7年）5月の教員伝習所設置以来、140年を超える歴史と伝統を有する我が国固有数の教育大学です。

現在の大阪教育大学は、大阪府柏原市の金剛生駒紀泉国定公園内に約67万m²のメインキャンパスを配置し、教員養成教育と教養教育を通じて有為な人材を輩出する一方、国際都市として交通アクセスはもとより情報・産業の中核機能を有する大阪市内に天王寺キャンパスを擁しています。さらに大阪市天王寺区、平野区及び大阪府池田市の3地区に初等・中等教育並びに特別支援教育に対応した11の附属学校園を設置し、総合的な教育系大学をめざしています。

1. 組織



2. 職員数（平成28年4月現在）

学長	1	教授	150
理事	4	准教授	88
監事	2	講師	15
合計	7	助教	2
		附属学校 教員	270
		事務系 職員	165

3. 学生数 外国人留学生は（ ）で内数で記入

■教育学部

第一部 教員養成課程・教養学科		第二部 小学校教員養成	
教員養成課程	2,148(13)	1年次入学	177
教養学科	1,325(37)	3年次編入学	142
教育協働学科	359(25)	合計	319
合計	3,832(75)		

■大学院

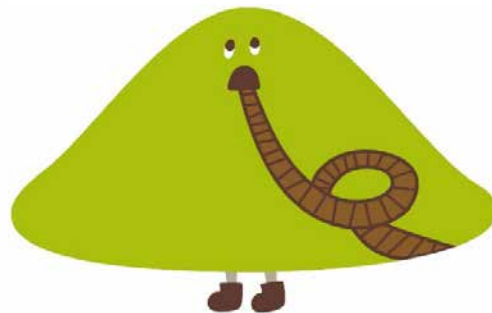
教育学研究科	398(29)
連合教職実践研究科	68
特別支援教育特別専攻科	33

（平成29年5月現在）

大阪教育大学各キャンパス



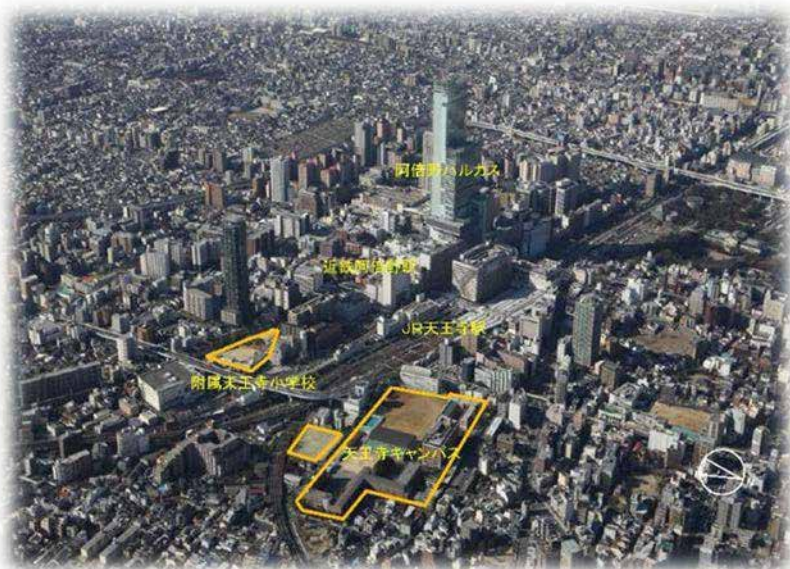
柏原キャンパス



大阪教育大学公式キャラクター「やまお」



大阪教育大学公式キャラクター「たまごどり」



天王寺キャンパス

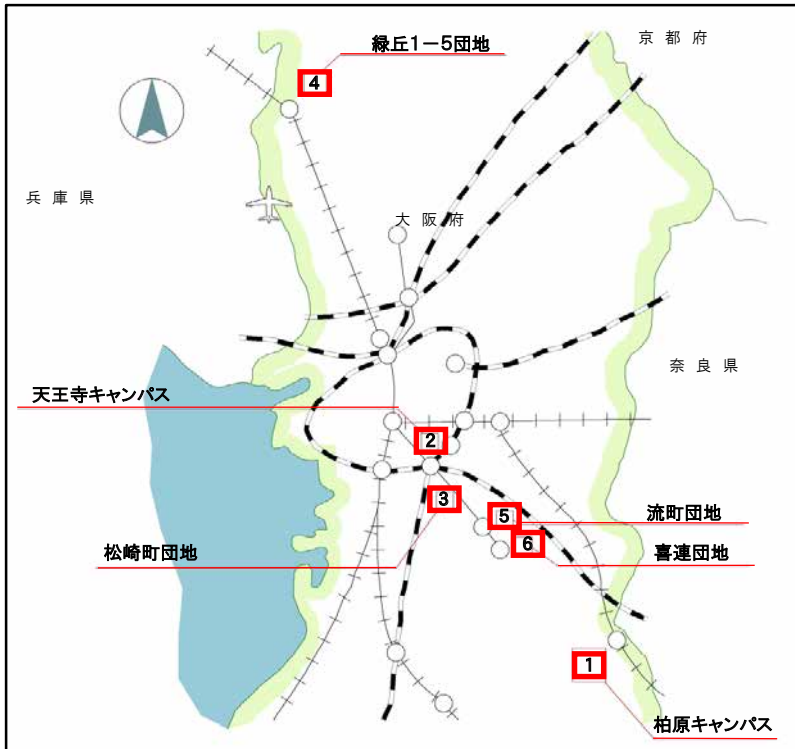


平野地区附属学校園
(幼稚園、小学校、中学高等学校)



池田地区附属学校
(小学校、中学高等学校)

団地の所在地



柏原地区

- 1** 柏原キャンパス
大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

天王寺地区

- 2** 天王寺キャンパス
大阪市天王寺区南河堀町4-88
附属天王寺中学校・附属高等学校天王寺校舎
大阪市天王寺区南河堀町4-88
- 3** 松崎町団地
附属天王寺小学校
大阪市阿倍野区松崎町1-2-45

池田地区

- 4** 緑丘1-5団地
附属池田小学校 池田市緑丘1-5-2
附属池田中学校 池田市緑丘1-5-1
附属高等学校池田校舎 池田市緑丘1-5-1
学校危機メンタルサポートセンター

平野地区

- 5** 流町団地
附属幼稚園 大阪市平野区流町2-1-79
附属平野小学校 大阪市平野区流町1-6-41
附属平野中学校 大阪市平野区流町2-1-24
附属高等学校平野校舎 大阪市平野区流町2-1-24
- 6** 喜連団地
附属特別支援学校 大阪市平野区喜連4-8-71

■ キャンパスの特徴

大阪教育大学には柏原キャンパスの他、天王寺キャンパス及び11の附属学校園が設置されている。大阪市内の天王寺地区及び平野地区、大阪府北部の池田地区に分かれて置かれ、いずれも大学との連携のもと、教育研究・教育実践・教育実習の場として重要な役割を果たすとともに、それぞれ地区ごとに連絡進学をはじめさまざまな相互連携をとり、下記のような特徴を持っている。

○柏原キャンパス

平成元年より天王寺、平野、池田より統合移転し、大学の本部を置くキャンパスである。

○天王寺地区

教育学部（二部）、連合教職大学院（夜間）と附属天王寺小学校、附属天王寺中学校・附属高等学校天王寺校舎を有するキャンパスで「基礎・基本の確かな育成」「中高一貫教育の長い歴史」を目標にしている。

○池田地区

附属池田小学校、附属池田中学校・附属高等学校池田校舎を有するキャンパスで

「生きる力の育成・国際教育の基盤作り」「国際教育・国際理解教育と異文化交流」を目標にしている。

○平野地区

附属幼稚園、附属平野小学校、附属平野中学校・附属高等学校平野校舎、附属特別支援学校を有するキャンパスで「相互連携した教育・研究」「5校園構想への取組みと異校種交流学习」を目標にしている。

柏原キャンパスマップ配置図



1 共通講義棟 (A棟)
大小の講義室、実験教室、情報処理実習室、CALL (コンピュータ支援語学学習) 教室、ロッカールームの他に、外国語学習支援ルームやICT教育支援ルームがあります。



2 教育協働学科棟 (B棟)
主に教育協働学科の講義室、実習室、研究室などがあります。憩いの場である「レモンルーム」や壁一面のホワイトボードスペース「ガリレオボード」もあります。



3 教員養成課程棟 (C棟)
主に教員養成課程の講義室、実習室、研究室などがあります。入試課はC1棟1階にあります。憩いの場である「メロンルーム」や障がい学生修学支援ルームもあります。



4 附属図書館 (D棟)
約90万冊の資料が利用できる閲覧室やアクティブラーニングが可能など幅広いひろば・グループ学習室を設置しています。院生スタッフによる学習サポートも行っています。



5 情報処理センター (E棟)
情報化の推進と情報システムの円滑な運用に、教育研究の発展に寄与することを目的としています。ネットワーク実習室、マルチメディア実習室、オープンLANスペース等があります。



6 美術棟 (F棟)
絵画室、デザイン室、書道室、講義室、研究室などがあります。



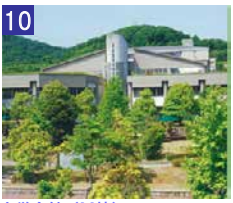
7 工房棟 (G棟)
彫刻室、金工室、立休室、木工室、窯工室、研究室等があります。



8 体育・スポーツ棟 (H棟)
実験実習室、講義室、セミナー室、研究室などがあります。



9 音楽棟 (K棟)
リハーサルホール、実習室、練習室、講義室、研究室などがあります。



10 大学会館 (M棟)
Dining TERRA、第二食堂、レストランFORET、喫茶 (SUN Cafe)、Shop アイリス (書籍購買) などが、学生の憩いの場となっています。



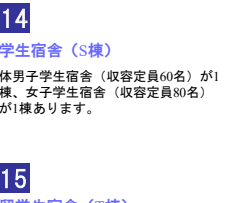
11 事務局棟 (N棟)
学務部のほか、管理部、学術部などがあります。



12 体育館 (P棟)
大メインアリーナ、サブアリーナ、器械運動場、第一武道場、第二武道場、ダンスルーム、トレーニングルーム等があります。



13 課外活動共用施設 (R棟)
体育系共用室、文化系共用室、合宿室などがあり、課外活動の拠点になっています。



14 学生宿舎 (S棟)
体男子学生宿舎 (収容定員60名)が1棟、女子学生宿舎 (収容定員80名)が1棟あります。



15 留学生宿舎 (T棟)
体40室 (収容定員男性18名、女性22人)あり、留学生に居住の場を提供しています。

環境配慮実施計画

平成28年度の実施計画、評価

大阪教育大学の環境配慮の目標は、「省エネルギー・省資源の推進」「廃棄物の抑制」「環境汚染防止」「環境教育等の充実」「地域貢献」「喫煙対策」「学内美化」の項目を実施計画とし、進めていきます。

■ 省エネルギー・省資源の推進 (自己評価の○は計画達成、△は一部達成、×は未達成を示します。)

項目	実施計画	自己評価
エネルギー使用量・温室効果ガスの削減	<input type="checkbox"/> エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量を前年度比1%削減する。 <input type="checkbox"/> 掲示物等で省エネの啓発を行う。 <input type="checkbox"/> 廊下・トイレ等の照明の自動点灯・消灯装置への更新、教室等の照明器具のHf型照明器具への更新する。	△
水使用量の節減	<input type="checkbox"/> 掲示物等で節水の啓発を行う。 <input type="checkbox"/> トイレの手洗い自動水栓の導入を行う。 <input type="checkbox"/> メーターを検針し、水使用量を把握して大きな漏水がないかチェックする。	○

■ 廃棄物の抑制

一般廃棄物の排出抑制	<input type="checkbox"/> 分別回収の徹底を強化する。 <input type="checkbox"/> 大学生協のランチボックス等紙パックを回収をする。 <input type="checkbox"/> 掲示によるマナー啓発活動の展開をする。	○
用紙使用量の削減	<input type="checkbox"/> 用紙の両面利用を推進し、使用量の節減を図る。 <input type="checkbox"/> 学内連絡や会議用資料の保存等を紙から電子記録媒体に移行する。	○

■ 環境汚染防止

実験廃棄物等の管理	<input type="checkbox"/> 学長統括の下、大阪教育大学実験廃棄物等管理委員会において適正管理する。	○
実験廃棄物の廃棄	<input type="checkbox"/> 大阪教育大学実験廃棄物等取扱規程に基づき、実験廃棄物を排出する実験廃棄物等取扱者が、実験廃棄物等取扱責任者の指導監督の下、廃棄処分する。	○
実験用劇物等の管理	<input type="checkbox"/> 購入者がその都度、薬品名・薬品番号・購入単位・購入年月日・受入量・使用者を受払簿に記載する。 <input type="checkbox"/> 大量の物は屋外の鍵付き保管倉庫に、少量の物は屋内実験室等の鍵付き保管庫に保管する。 <input type="checkbox"/> 受払簿は保管倉庫内と保管庫内に保管する。 <input type="checkbox"/> 受払簿は使用する毎に記載する。	○

■ 環境教育等の充実

環境教育の充実	<input type="checkbox"/> 教材園での栽培を通して、自然環境の大切さを学ばせる。	○
環境保全意識の啓発	<input type="checkbox"/> 春と秋、年2回のキャンパスクリーン週間を設け、自分達を取り巻く環境は自分達の手で護らねばならないという意識の芽生えを図る。	○

■ 地域貢献

森林体験学習	<input type="checkbox"/> 柏原市との連携協定に基づく、近隣の小学生を対象とした森林体験学習を本学学生ボランティアにより実施する。	○
グリーンアドベンチャ(社団法人青少年流協会)	<input type="checkbox"/> キャンパス内に設定されたコース上の植物の名前や生態を付設ボードのクイズを解きながら学習し、キャンパスを野外活動で近隣地域の住民にも開放する。キャンパスの豊かな自然の中で自然に親しみ、植物をとおして生命の尊さとそれを育む環境保全の大切さを体感させる。	○
その他	<input type="checkbox"/> 星空を観察するという身近な方法で大気の汚れを実感し、大気汚染問題に対して関心をもって頂くことを目的とした「星空の観察会」の実施する。	○

■ 喫煙対策

喫煙・分煙区域の指定	<input type="checkbox"/> 分煙対策として、引き続き禁煙区域の明示と喫煙場所の整理を行い、受動喫煙の弊害を抑制する。	○
啓発活動	<input type="checkbox"/> 喫煙者に対する健康意識の高揚や喫煙マナー向上に向けたPR活動を推進する。	○

■ 学内美化

雑草の刈り取りとゴミの一斉収集	<input type="checkbox"/> キャンパスクリーン週間を年間2回設け、教職員と学生による一斉雑草刈りとゴミの収集を行い、環境美化を図る。また、この週間中以外でも道具を貸し出し、有志で環境美化が実施できる対応とする。	○
花壇の整備	<input type="checkbox"/> 計画的に整備する。	○
植栽の剪定	<input type="checkbox"/> 定期的に植木剪定業者を雇い剪定する。	○

平成29年度の目標



省エネルギー・省資源の推進

項目	実施計画
エネルギー使用量・温室効果ガスの削減	<input type="checkbox"/> エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量を関係法令等に従い削減する。 <input type="checkbox"/> 空調を更新する際は、高効率機器の採用を推進する。 また、フロン法に基づき、定期点検を行い、空調の劣化を未然に防ぐ。 <input type="checkbox"/> 掲示物等で省エネの啓発を行う。 <input type="checkbox"/> 廊下・トイレ等の照明の自動点灯・消灯装置への更新、教室等の照明器具のLED化等照明器具等への更新、省エネに配慮した機器、システムの導入を推進する。
水使用量の節減	<input type="checkbox"/> 掲示物等で節水の啓発を行う。 <input type="checkbox"/> トイレ等の改修を行う際は、節水器具の導入を推進する。

廃棄物の抑制

一般廃棄物の排出抑制	<input type="checkbox"/> 分別回収の徹底を強化する。 <input type="checkbox"/> 大学生協のランチボックス等をリサイクルする。 <input type="checkbox"/> 掲示によるマナー啓発活動の展開をする。
用紙使用量の削減	<input type="checkbox"/> 用紙の両面利用を推進し、使用量の節減を図る。 <input type="checkbox"/> 学内連絡や会議用資料の説明保存等を紙から電子記録媒体にする。

環境汚染防止

実験廃棄物等の管理	<input type="checkbox"/> 学長統括の下、大阪教育大学実験廃棄物等管理委員会において適正管理する。
実験廃棄物の廃棄	<input type="checkbox"/> 大阪教育大学実験廃棄物等取扱規程に基づき、実験廃棄物を排出する実験廃棄物等取扱者が、実験廃棄物等取扱責任者の指導監督の下、廃棄処分する。
実験用劇物等の管理	<input type="checkbox"/> 購入者がその都度、薬品名・薬品番号・購入単位・購入年月日・受入量・使用者を受払簿に記載する。 <input type="checkbox"/> 大量の物は屋外の鍵付き保管倉庫に、少量の物は屋内実験室等の鍵付き保管庫に保管する。 <input type="checkbox"/> 受払簿は保管庫倉庫内と保管庫内に保管する。 <input type="checkbox"/> 受払簿は使用する毎に記載する。

環境教育等の充実

環境教育の充実	<input type="checkbox"/> 教材園での栽培を通して、自然環境の大切さを学ばせる。
環境マインドの醸成	<input type="checkbox"/> 春と秋にキャンパスクリーン等の企画を含む大教大ecoウィークを行い、自分達を取り巻く環境を自分達の手で綺麗にすることにより、環境マインドの醸成を図る。

地域貢献

森林体験学習	<input type="checkbox"/> 柏原市との連携協定に基づく、近隣の小学生を対象とした森林体験学習を本学学生ボランティアにより実施する。
グリーンアドベンチャ (社団法人青少年交友協会)	<input type="checkbox"/> キャンパス内に設定されたコース上の植物の名前や生態を付設ボードのクイズを解きながら学習し、キャンパスを廻る野外活動で近隣地域の住民にも開放する。キャンパスの豊かな自然の中で自然に親しみ、植物をとおして生命の尊さとそれを育む環境保全の大切さを体感させる。
その他	<input type="checkbox"/> 星空を観察するという身近な方法で大気の汚れを実感し、大気汚染問題に対して関心をもって頂くことを目的とした「星空の観察会」の実施 <input type="checkbox"/> 幼稚園の遠足及び国際フェスティバル等の場所を提供する。

禁煙対策

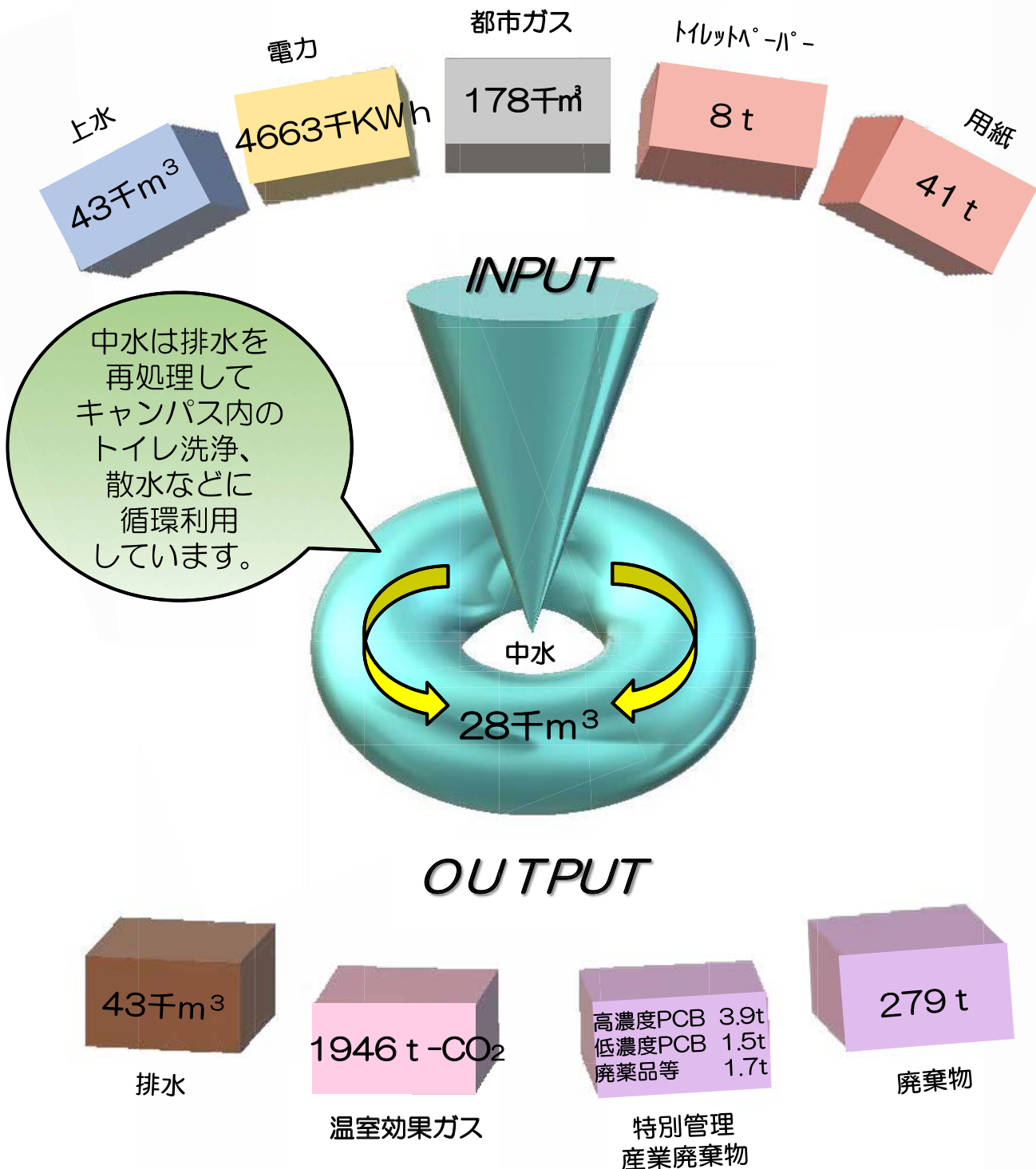
構内全面禁煙	<input type="checkbox"/> 受動喫煙防止対策として、2015年10月1日より実施している構内全面禁煙を継続する。
啓発活動	<input type="checkbox"/> 喫煙者に対する健康意識の高揚や喫煙マナー向上に向けたPR活動を推進する。

学内美化

雑草の刈り取りと ゴミの一斉収集	<input type="checkbox"/> キャンパスクリーン週間を年間2回設け、教職員と学生による一斉雑草刈りとゴミの収集を行い、環境美化を図る。 また、この週間中以外でも道具を貸し出し、有志で環境美化が実施できる対応とする。
植栽の剪定	<input type="checkbox"/> 期日を決め定期的に剪定や草刈の実施をする。

マテリアルバランス

マテリアルバランスとは、大学の活動に伴う環境負荷の全体像で、大学の活動のために投入する資源等をINPUT、大学の活動結果排出する環境負荷をOUTPUTとして表したもので、平成27年度の大阪教育大学柏原キャンパスのマテリアルバランスは下記の通りです。



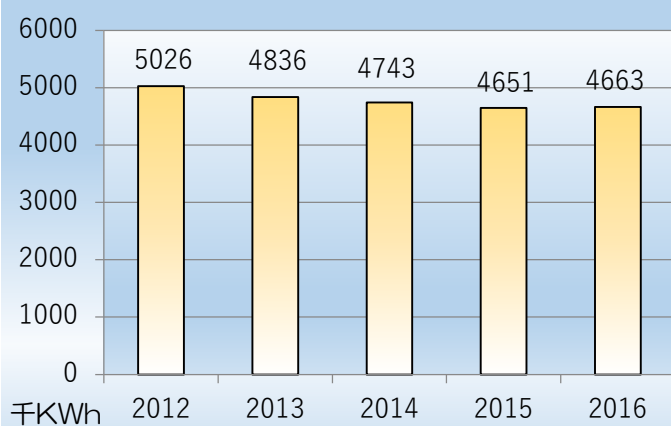
環境負荷データ



電力

- 電力使用量削減のため全学的な省エネ活動を推進しています。
- 2016年度は昨年に引き続き照明設備の高効率化を行うと共に、年間を通しての省エネ活動として、電力の平準化や節電等を実施したが、夏期及び冬期において気温変動が顕著であったため空調負荷が増加したことにより2015年度に比べ0.2%の電力使用量増加となりました。

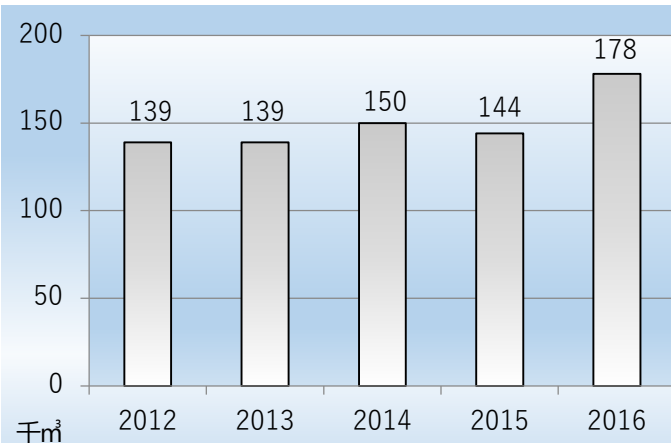
※柏原キャンパスのデータ



都市ガス

- ガス使用量削減についても全学的な省エネ活動を推進しています。
- 2016年度は、前年度新たに増設したガスヒートポンプ空調機が本格稼働したことに併せ、夏期及び冬期の大きな気温変動に伴い、2015年度に比べ約20%の使用量増加となりました。

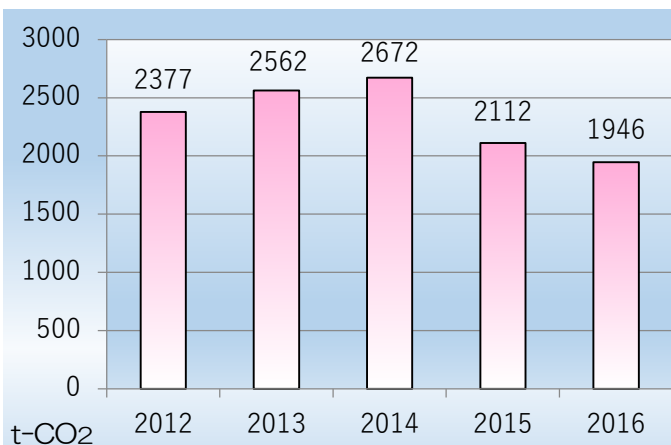
※柏原キャンパスのデータ

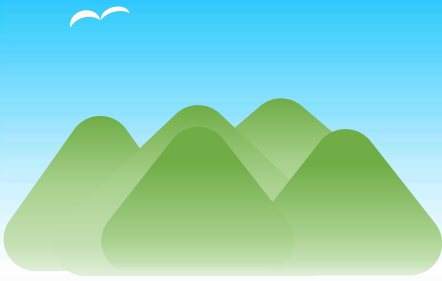


温室効果ガス

- 温室効果ガス排出量削減に努めています。
- 2016年度は、電気及びガスの使用量が気温変動により増加したものの、使用するエネルギーの大半を電気が占めており、調達している電力会社のCO2排出係数により、2015年度と比べ約9%の温室効果ガスの排出量が削減となりました。

※柏原キャンパスのデータ



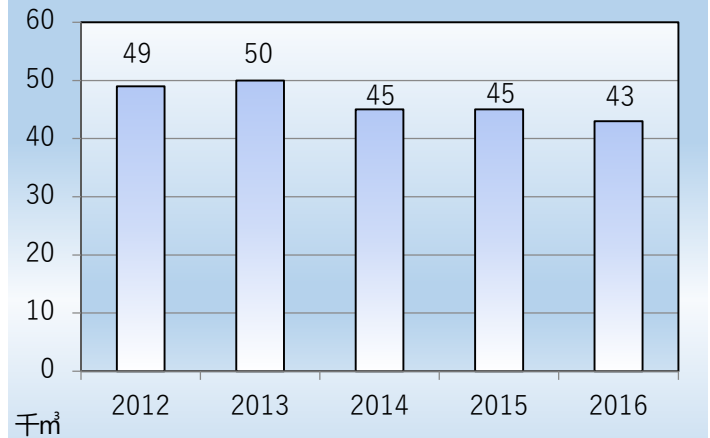


環境負荷データ

上水

- 節水対策により水の使用量削減に努めています。
- 2016年度の上水使用量については、2014年度及び2015年度に行ったトイレ改修により手洗いの蛇口が節水型自動水栓となり、節水の効果が現れたため、2015年度に比べ約5%の使用量削減となりました。

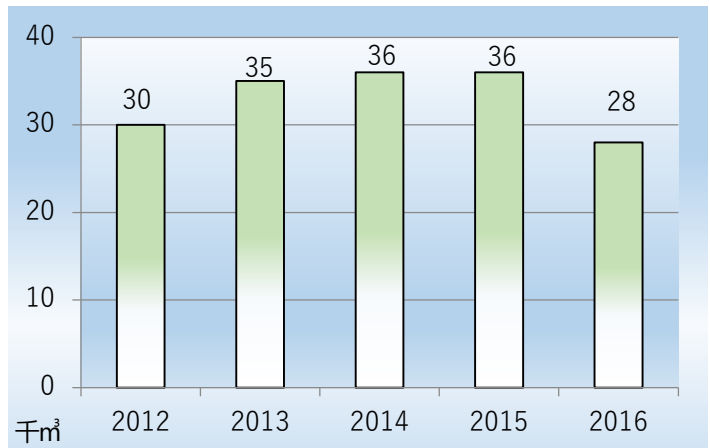
※柏原キャンパスのデータ



中水

- 中水は排水を再生処理してキャンパス内で再循環利用しています。
- 2016年度の中水使用量については、順次行ってきた便所改修で節水型便器となり節水の効果が現れたため、2015年度に比べ22%の使用量削減となりました。

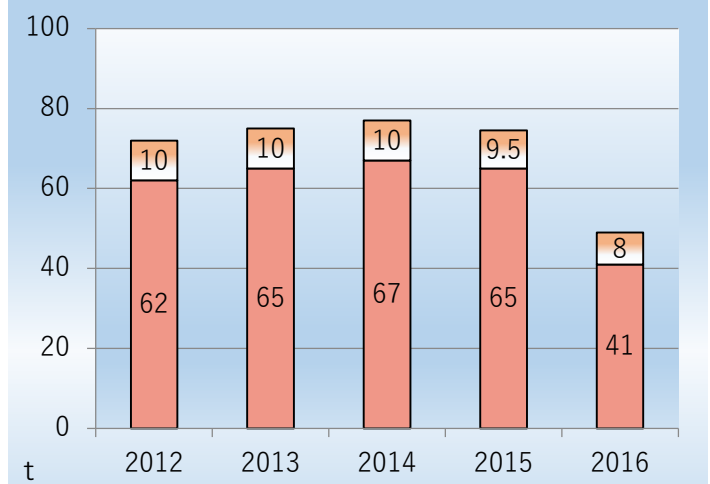
※柏原キャンパスのデータ



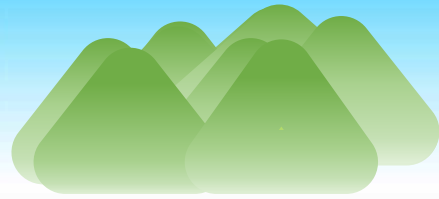
トイレットペーパー
 コピー用紙

- コピー用紙及びトイレットペーパーの節減に努めています。
- トイレットペーパーについては、便所改修に伴い洗浄便座を設置した効果が現れ、使用量の削減が見られます。コピー用紙については、学内グループウェアにより通知文書の電子化や電子会議の浸透によりペーパーレス化が進んだため、使用量の削減が見られます。

※柏原キャンパスのデータ

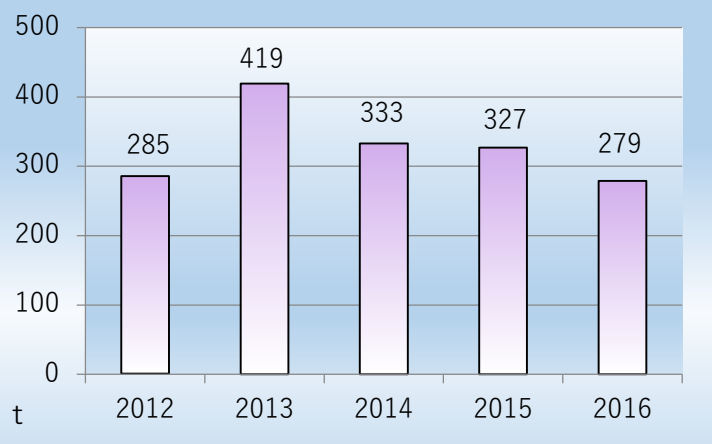


環境負荷データ



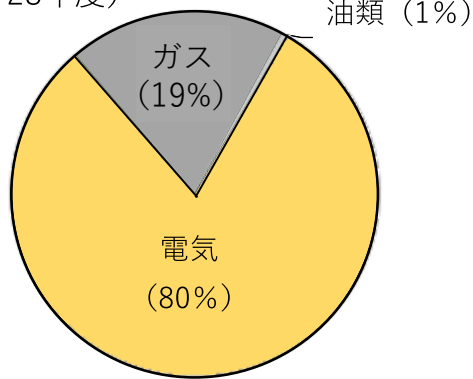
廃棄物排出量

- 一般廃棄物、産業廃棄物の削減に努め適切な処理を行っています。
- 廃棄物については、例年300t前後で推移しています。2013年については、老朽した備品を多く排出したため例年より多くなっています。廃棄物は全て「廃棄物処理法」に基づき適正な処理を行っています。
※産業廃棄物は主に金属くず、木くず、廃プラスチック等を破碎した体積です。

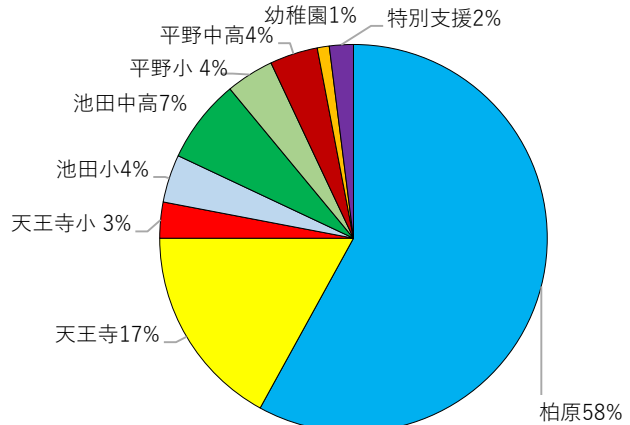


エネルギー消費の割合

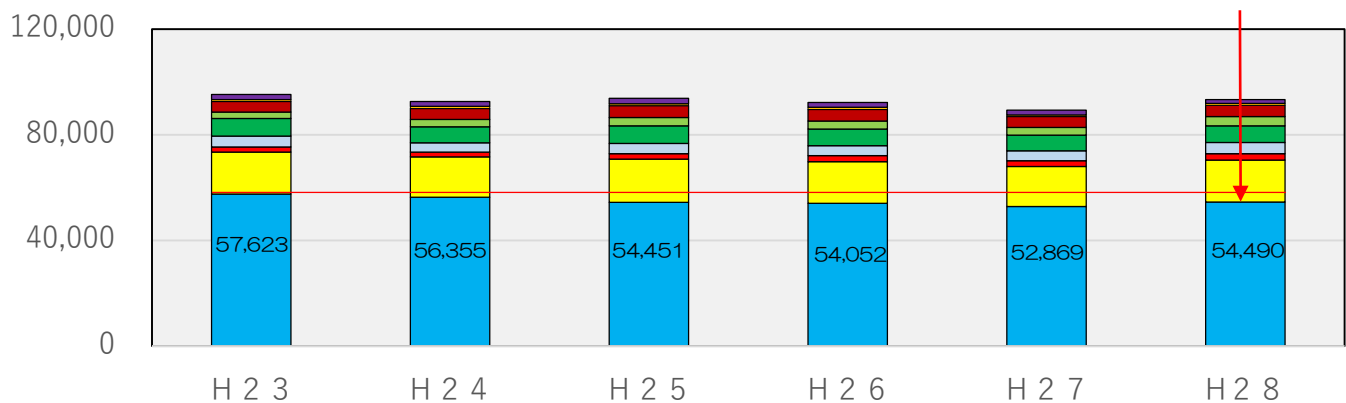
(H28年度)



エネルギー分布割合 (H28年度)



年度別エネルギー消費の推移



(GJ/年)

- 柏原キャンパス
- 天王寺キャンパス
- 天王寺小学校
- 池田小学校
- 池田中高校
- 平野小学校
- 平野中高校
- 附属幼稚園
- 特別支援学校

環境マネジメント活動の推進 環境教育・研究活動の取り組み

■ 教育

本学では持続可能な社会を創生するマインドを持つ、教員をはじめとする人材を育成するために、基礎教育段階における環境関連のカリキュラムを充実させています。

科目分類（分野）	科目名	受講生数
教養基礎（生命と環境）	はかってなんぼ－環境をはかる	277
教養基礎（生命と環境）	地球と環境	113
教養基礎（生命と環境）	水と環境を考える	289
教養基礎（生命と環境）	大阪の環境と地球環境	297
教養基礎（生命と環境）	地球と災害	74
教養基礎（生命と環境）	持続可能な開発の為の教育（ESD）概論 （双方向授業：奈良）	44
教養基礎（総合・現代教養）	生命・環境倫理	47
教職教養	環境教育論	7

■ 研究

本学では教員養成に立脚した環境教育に関する研究、ならびに地球環境に関する研究が行われています。

研究テーマ	研究成果	キーワード
環境学習	小学校理科教科書の植物教材と記述内容の分析、大阪教育大学紀要 第V部門 教科教育、65(1)、21-37.	植物教材、観察実験、食物連鎖
生物環境	ため池におけるオオタニシの生息場所と成長、大阪教育大学紀要 第III部門 自然科学・応用科学、65(1)、7-11	ため池、底質、年齢
環境指標	陰電荷膜法による試料濃縮がF特異性RNAフェージを用いた糞便汚染源の推定に与える影響、陸水研究、3、61-65	水圏環境、糞便汚染、汚染源推定、検出方法
水質汚濁	三次元励起蛍光スペクトル法による大和川の現状、日本陸水学会近畿支部会第28回研究発表会、陸水研究、4、52-53	有機汚濁、河川環境、



実験用植物の栽培に際して、省エネ型のLED照明を備えた培養装置を導入しました。

環境マネジメント活動の推進

学内での取り組み



■ ゴミの分別収集及び処理について

- 一般廃棄物**
 本学の一般廃棄物については、可燃物、缶類、ビン類等に分別し廃棄処分を行っています。また、紙類においても種別に分類し専門業者に処理を委託しています。
- 産業廃棄物**
 本学の産業廃棄物については、種類毎に回収し専門業者に処理の委託を行っています。（マニフェストの義務化）
- 特別管理産業廃棄物**
 本学の特別管理産業廃棄物については、種類毎に回収管理し、専門業者に廃棄の委託を行っています。（マニフェストの義務化）



一般廃棄物の搬出状況

■ PCB廃棄物（特別管理産業廃棄物）の処分について

大阪教育大学では、平成28年度に天王寺学舎等で使用していた高濃度・低濃度を含む全てのPCB廃棄物（ポリ塩化ビフェニル）を関係法令に従い専門業者であるJESCO及び民間処理業者に委託し処理を行いました。

処理を行ったPCB廃棄物保管状況(PCB保管庫)



- ◆ 高濃度PCB（照明器具安定器）**
 ドラム缶 11缶 (3,925.5kg)



- ◆ 低濃度PCB（変圧器等の電気製品機器）**

変圧器	5台 (1,183kg)
コンデンサ	2台 (35kg)
遮断機	3台 (163kg)
保管容器	1缶 (73kg)

JESCOは、国等の委託を受けて行う中間貯蔵事業と旧日本環境安全事業株式会社の実施していたPCB廃棄物処理事業を行う、政府全額出資の特殊会社です。



環境マネジメント活動の推進 環境保全活動の状況

■ キャンパスクリーンデーの実施について

柏原キャンパスでは、10月19日（水）にキャンパスクリーンデーとして、学生ならびに教職員が参加してキャンパス内の草刈りを行いました。

日中の日差しが照りつける中、大きく成長した草木をみんなで刈り取り、キャンパスはすっきりときれいになりました。



草の刈り取りの様子



清掃の様子

■ 省エネルギー推進会議の開催について

平成28年度の省エネルギー推進委員会として、6月24日（水）に学内の任命された委員(学生及び団体を含む)により、省エネルギー推進委員会を開催いたしました。

委員会では年々増加する傾向のエネルギーの消費削減と温室効果ガスの削減について関係法令に基づき達成するために夏期及び冬期の省エネルギー対策メニューを検討し、大学のみならず附属学校園を含む各構成員にも、メニューの実施をお願いし、削減に努めているところです。

また、委員会においては対策の検証を踏まえ、前年度の削減報告を行い対策改善を図っています。

第1回省エネ推進委員会
報告書

平成28年度 夏期節電(案)について

夏期節電期間
平成28年7月1日(金)～9月30日(金)
特に需要の多い午後1時～午後4時の重点的な節電をお願いします。

節電対策項目

空調 <ul style="list-style-type: none"> クールビズ(夏期の軽装)の励行(平成28年5月1日～平成28年9月30日の期間実施) 室温管理の徹底(室温温度 26℃) 外出先(夏季の建物、夏期以外の期間) ※扇風の活用 空調開始時は一時的に温度を停止や業務終了時にブラインドやカーテンを閉め、翌朝の日射角度を軽減、日中も有効に活用し、直射日光を遮断 空調機フィルターの定期清掃 	照明 <ul style="list-style-type: none"> 未使用部屋の消灯(講義室とも) 昼休みや休憩時間の消灯 自然光の活用(日中は窓際消灯) 共用部や地下階の照り引きの実施 在室センサーのみ点灯や明るさ調整での消灯
OA機器等 <ul style="list-style-type: none"> 使用していない機器等はコンセントからプラグを抜く 長時間(約1時間30分以上)使用しない場合は電源をOFFにする 不要な周辺機器をパソコンから取り外す 	衛生 <ul style="list-style-type: none"> 長時間(約2時間以上)使用しない電気ポットはプラグを抜く トイレ便座暖房の停止
エレベーター <ul style="list-style-type: none"> 階段利用の励行(2ステップダウン ステップアップ) 	その他 <ul style="list-style-type: none"> 断水に努める(送水ポンプ等の電力削減に寄与する)

重点的にお願いする項目

第1回省エネ推進委員会
報告書

平成28年度 冬期節電(案)について

冬期節電期間
平成28年12月1日(木)～平成29年3月31日(金)
特に需要の多い午前9時～午後9時の重点的な節電をお願いします。

節電対策項目

空調 <ul style="list-style-type: none"> ウォームビズ(冬期の軽装)の励行(平成28年12月1日～平成29年3月31日の期間実施) 室温管理の徹底(暖房温度 20℃) 	照明 <ul style="list-style-type: none"> 未使用部屋の消灯(講義室とも) 昼休みや休憩時間の消灯 自然光の活用(日中は窓際消灯) 共用部や地下階の照り引きの実施 在室センサーのみ点灯や明るさ調整での消灯
OA機器等 <ul style="list-style-type: none"> 使用していない機器等はコンセントからプラグを抜く 長時間(約1時間30分以上)使用しない場合は電源をOFFにする 不要な周辺機器をパソコンから取り外す 	衛生 <ul style="list-style-type: none"> 長時間(約2時間以上)使用しない電気ポットはプラグを抜く トイレ便座暖房の停止
エレベーター <ul style="list-style-type: none"> 階段利用の励行(2ステップダウン ステップアップ) 	その他 <ul style="list-style-type: none"> 断水に努める(送水ポンプ等の電力削減に寄与する)

重点的にお願いする項目

H28年度夏期及び冬季における
主な省エネルギー対策のメニュー

標準産業分類 中分類	特定事業者 番号	主な事業内容 の名称	事業者名	省エネ 評価 27年度	ベンチャー 認定分野
81学校教育	0008111	北海道	国立大学法人北海道大学	15	
81学校教育	0015511	北海道	国立大学法人北海道教育大学	15	
81学校教育	0020311	北海道	国立大学法人道南大学	15	
81学校教育	0020011	北海道	国立大学法人 旭川医科大学	15	
81学校教育	0026511	北海道	国立大学法人北星工業大学	15	
81学校教育	0035411	北海道	国立大学法人道南大学	15	
81学校教育	0002521	福島県	国立大学法人福島大学	15	
81学校教育	0019121	宮城県	国立大学法人宮城大学	15	
81学校教育	0029211	山形県	国立大学法人山形大学	15	
81学校教育	0050521	宮城県	国立大学法人東北大学	15	
81学校教育	0058771	秋田県	国立大学法人秋田大学	15	
81学校教育	0062921	青森県	国立大学法人弘前大学	15	
81学校教育	0119131	新潟県	国立大学法人長岡技術科学大学	15	
81学校教育	0119831	東京都	国立大学法人東京学芸大学	15	
81学校教育	0178931	東京都	国立大学法人東京理科大学	15	
81学校教育	0230031	新潟県	国立大学法人新潟大学	15	
81学校教育	0238631	東京都	国立大学法人東京医科歯科大学	15	
81学校教育	0243731	埼玉県	国立大学法人埼玉大学	15	
81学校教育	0267031	東京都	国立大学法人千葉大学	15	
81学校教育	0287331	千葉県	国立大学法人千葉大学	15	
81学校教育	0334631	群馬県	国立大学法人群馬大学	15	
81学校教育	0387031	東京都	国立大学法人一橋大学	15	
81学校教育	0407031	山梨県	国立大学法人山梨大学	15	
81学校教育	0438531	栃木県	国立大学法人宇都宮大学	15	
81学校教育	0438831	東京都	国立大学法人東京海洋大学	15	
81学校教育	0451031	茨城県	国立大学法人茨城大学	15	
81学校教育	0451131	静岡県	国立大学法人静岡大学	15	
81学校教育	0462731	千葉県	国立大学法人法政大学	15	
81学校教育	0482831	東京都	国立大学法人東京工業大学	15	
81学校教育	0474531	東京都	国立大学法人国語学芸大学	15	
81学校教育	0481531	東京都	国立大学法人東京理科大学	15	
81学校教育	0484931	静岡県	国立大学法人浜松大学	15	
81学校教育	0494031	東京都	国立大学法人国語学芸大学	15	
81学校教育	0487331	東京都	国立大学法人電気通信大学	15	
81学校教育	0518031	東京都	国立大学法人お茶の水女子大学	15	
81学校教育	0612631	東京都	国立大学法人東京外国語大学	15	
81学校教育	0621641	愛知県	国立大学法人名古屋大学	15	
81学校教育	0027541	愛知県	国立大学法人名古屋商科大学	15	
81学校教育	0033441	愛知県	国立大学法人愛知教育大学	15	
81学校教育	0053441	愛知県	国立大学法人名古屋大学	15	
81学校教育	0094541	三重県	国立大学法人三重大学	15	
81学校教育	0088741	石川県	国立大学法人石川大学	15	
81学校教育	0090841	富山県	国立大学法人富山大学	15	
81学校教育	0098841	岐阜県	国立大学法人岐阜大学	15	
81学校教育	0099411	岐阜県	国立大学法人岐阜大学	15	
81学校教育	0004151	富山県	国立大学法人金沢大学	15	
81学校教育	0042851	兵庫県	国立大学法人神戸大学	15	
81学校教育	0050551	和歌山県	国立大学法人和歌山大学	15	
81学校教育	0068851	徳島県	国立大学法人徳島大学	15	
81学校教育	0070251	徳島県	国立大学法人徳島大学	15	
81学校教育	0126351	大阪府	国立大学法人大阪大学	15	
81学校教育	0143351	大阪府	国立大学法人大阪教育大学	15	
81学校教育	0152151	奈良県	国立大学法人奈良大学	15	
81学校教育	0158551	京都府	国立大学法人京都府立総合技術大学院大学	15	
81学校教育	0168651	京都府	国立大学法人京都大学	15	
81学校教育	0038461	滋賀県	国立大学法人滋賀大学	15	
81学校教育	0050661	滋賀県	国立大学法人滋賀大学	15	
81学校教育	0028891	福井県	国立大学法人福井大学	15	
81学校教育	0037461	広島県	国立大学法人広島大学	15	
81学校教育	0037761	山口県	国立大学法人山口大学	15	
81学校教育	0026471	徳島県	国立大学法人高松大学	15	
81学校教育	0015771	愛媛県	国立大学法人愛媛大学	15	
81学校教育	0024671	香川県	国立大学法人香川大学	15	
81学校教育	0030171	高知県	国立大学法人高知大学	15	
81学校教育	0031341	高知県	国立大学法人高知大学	15	
81学校教育	0031191	福岡県	国立大学法人九州大学	15	
81学校教育	0045081	佐賀県	国立大学法人佐賀大学	15	
81学校教育	0052581	熊本県	国立大学法人熊本大学	15	
81学校教育	0055641	福岡県	国立大学法人九州工業大学	15	
81学校教育	0069991	大分県	国立大学法人大分大学	15	
81学校教育	0070381	宮崎県	国立大学法人宮崎大学	15	
81学校教育	0072181	長崎県	国立大学法人長崎大学	15	
81学校教育	0062191	沖縄県	国立大学法人琉球大学	15	

工場・事業場における省エネ定期報告(H27年度提出分)に
基づく事業者クラス分け評価の結果

環境マネジメント活動の推進 環境保全活動の状況



■ 高校生が天文学の最先端にふれるプログラムの実施について

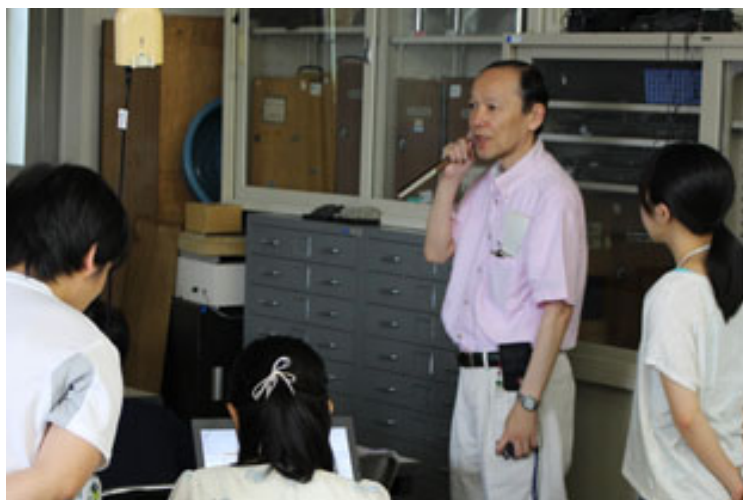
平成28年度ひらめき☆ときめきサイエンス「光と色を武器に、見えない天体ブラックホールを攻略しよう!？」を、8月4日(木)から5日(金)の2日間にわたり、柏原キャンパスで実施しました。

「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI」とは、「科研費」と呼ばれる研究費により大学や研究機関で行われている最先端の研究成果に、小学校5・6年生、中学生、高校生が、直に見る、聞く、触れることで、科学のおもしろさを感じてもらおうプログラムです。

1日目は、ブラックホールとは何なのか、どうすれば観測できるのかについて講義を受けたあと、太陽や星が放つ光の解析実習を行い、本学の51cm反射望遠鏡や天文台を見学しました。2日目は、星とブラックホール天体のスペクトル解析実習や、ブラックホールジェットと呼ばれる、黒い穴からのプラズマ噴流についての講義が行われました。

参加した高校生からは、「天文学という分野に今まで以上に興味が湧きました」「超新星についての話もあってうれしかった」などの感想が寄せられ、未知の科学に対する関心が高まった様子でした。

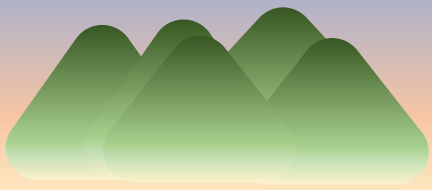
このプログラムを毎年実施している理科教育講座の福江純教授は、将来を担う子どもたちの科学する心を育み知的好奇心の向上に大きく貢献していると認められ、日本学術振興会より平成28年度ひらめき☆ときめきサイエンス推進賞を授与されました。福江教授は「10年ぐらい続けてきて、そろそろ一区切りと思っていました、もう少し頑張ろうかという気持ちになりました。参加者の高校生はもちろん、お手伝いの学生諸君にも有益な活動にしていきたいです」と語りました。



福江教授と本学学生の指導のもと、
実習に励む高校生たち



プログラムに参加した
高校生および学生たち



環境マネジメント活動の推進 安全安心への取り組み

■ 柏原キャンパス落石対策工事の実施について

当該斜面直下は最寄り駅と直結された歩道があり、多くの学生等が日々通行しています。その斜面は石積擁壁により土留めされており、以前はその上に高さ約2mのフェンスが設置されていましたが、一般的なメッシュフェンス程度であり、落石により数箇所破損もみられ、通行人の安全確保が急務でした。

当該斜面の調査結果を踏まえ、斜面勾配50°の自然斜面で、斜面自体は安定しているため、懸念される落石対策工として高さ3.5m～4mの落石防護柵を設置し歩行者の安全安心を確保しました。



柏原キャンパス全景



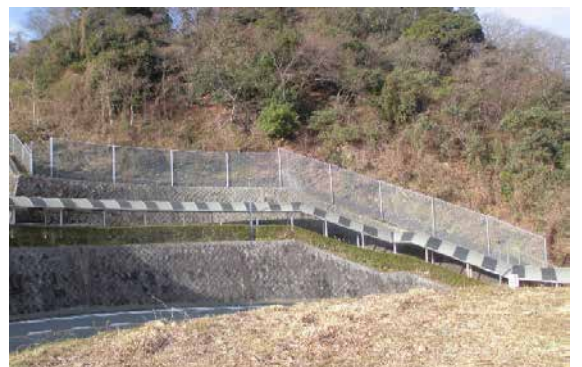
着工前（一般的メッシュフェンス）



完成後（落石防護柵）



着工前



完成後

環境マネジメント活動の推進 安全安心への取り組み



■ 柏原キャンパス 点字ブロック修繕の実施について

柏原キャンパスでは継続的に点字ブロックの修繕をおこなっています。古い点字はビニル床タイル製品で経年劣化で接着力が弱まりめくれている箇所が多々あり、歩行者がつまづき転倒しかねない状況です。少しずつではありますが、耐候性・摩耗性に優れた浸透型視覚障害タイルへとおこない、すべての人に安全安心な環境づくりを目指しています。



■ 附属天王寺小学校 体育館床修繕の実施について

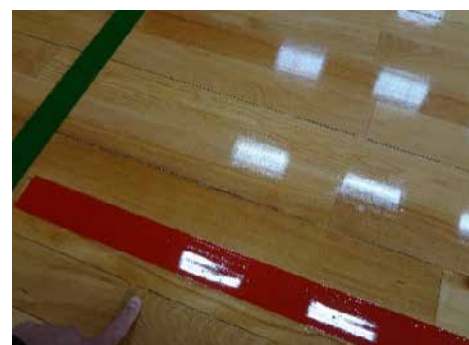
体育館のフローリングが痩せ、目地の継ぎ目が広がることでささくれが出来ており、ケガを招きかねないような床の状況でしたが、フローリングの目地充填をおこない、サンダー掛けの上全面ウレタン塗装をおこなうことで児童の安全を確保しました。

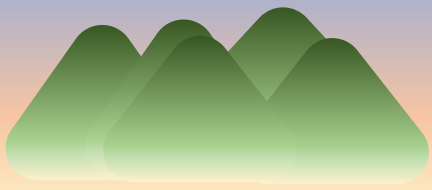


着工前



完成後





環境マネジメント活動の推進 地域社会への取り組み

■ 「イエローラインプロジェクト」河内木綿の文化を大切にしよう

美術教育講座の加藤可奈衛教授が中心となり活動している「イエローラインプロジェクト」が、河内木綿のガーデニングを、大阪教育大前駅横の原川親水公園内の一部エリアで実施しています。

同プロジェクトは、柏原市が3R推進を目指して毎年開催されているイベントとして環境フェアに参加し、本学学生や地域住民と連携・協力し、学内や柏原市内で、菜の花やひまわり、河内木綿などの栽培・収穫、ものづくりなどを、アートの視点に重点を置いて展開しています。

2016年度は主に見ごろを迎えた河内木綿（わた）の幹やコットンボール、柏原の木の実を活かし、ひと味違った装飾づくりのワークショップや作り方を学び、河内木綿の綿くり・糸つむぎ体験などが開催された。



OKUの文字に
ガーデニングされた河内木綿畑



収穫前の河内木綿（コットンボール）

■ 日本人学生と留学生が共に住む「山本国際学生宿舎」が完成

外国人留学生と日本人学生が共に生活し、国際交流をはかる「山本国際学生宿舎」が完成し、4月15日に開所式が実施され、学生や教職員など約50人が参加しました。

平成23年より、本学職員宿舎の一部を留学生宿舎として使用していました。今回新たに1棟24住戸の全てを改修し、外国人留学生と日本人学生の両方が入居できる国際学生宿舎を整備したものです。日本人学生はレジデント・アシスタントとして、留学生と共に宿舎に住み、日々の生活を支援します。

開所式では、向井康比己研究・国際担当副学長が挨拶した後、関係者によるテープカットが行われ、教育協働学科芸術表現講座の神代修准教授と学生たちによる金管五重奏の演奏が添えられました。次に、留学生代表として教育協働学科教育心理学専攻の胡浩天さんが「一緒に住むことになったよき隣人たちと生活面でも学習面でもお互い助け合い、日々精進していきたい」と挨拶し、寮長である教員養成課程音楽教育専攻の安原成美さんは「日々国際交流ができることを楽しみながら、留学生の生活がより楽しく快適になるよう、レジデント・アシスタントとして一生懸命頑張っていきます」と述べました。

式典後には、改装された居室や学生と地域住民との交流場所として設けられた集会室の内覧会が行われました。続いて交流会として餅つきが行われ、子どもたちや留学生が代わる代わる杵を持って餅つきに挑戦しました。

向井副学長は、「この山本宿舎が国際交流の場として、本学のグローバル化推進の一端を担ってほしい」と期待を表明しました。



テープカットの様子



住民を招いて餅つき交流会を実施

環境マネジメント活動の推進 地域社会への取り組み



■ 山間部・離島の小規模校で学校体験学習を実施

「遠隔地教育実習」が9月上旬から2週間にわたり行われ、教員養成課程2回生18人が参加しました。同実習は、2回生の学校体験実習のオプションとして、山間部や離島にある小規模校で行われるものです。自分が教師に向いているのか、どんな教師をめざすのかなど、今後の目標を明確にすることを目的としています。

実習は、周囲を山やゴルフ場に囲まれた三重県津市立川口小学校、北アルプスの美しい山々が連なる長野県白馬村立白馬南小学校、アート作品が点在することでも有名な離島「佐久島」にある愛知県西尾市立佐久島小学校の3校に分かれて行われました。面接試験で選抜された学生たちは、入念な事前準備をしたうえで実習に臨みました。

学生たちは、実習校の教員の授業を手伝うとともに、自分たちで企画した授業を行いました。感謝を伝える大切さについて考えたあと実際に手紙を書いたり、体を動かす実験を通して人の体の不思議について学んだり、各自工夫を凝らした様々な授業が展開されました。地域住民と触れ合う機会も多く、伝統芸能を教わり、地域の行事にも参加しました。また、実習期間中は現地の公民館などで共同生活となるため、家事を分担し、実習のことを話し合っ、協働する大切さを実感しました。

実習を終えて学生たちは、「子どもを自分の価値観だけで見るのではなく、外での様子や生活背景を知ったうえで理解することが大切だとわかった」「泊まり込みの実習だったからこそ、人の温かみを強く感じることができた」「子どもたちと本気で向き合うことで、自分の強み、弱みが見えた。とても有意義な実習なので、後輩にもぜひ経験してほしい」と感動を語りました。



白馬南小学校の実習生たち



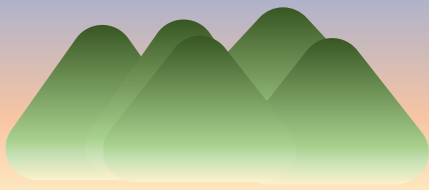
佐久島小学校で1、2年生に絵本を読み聞かせ



佐久島小学校の運動会練習に
取り組む学生たち



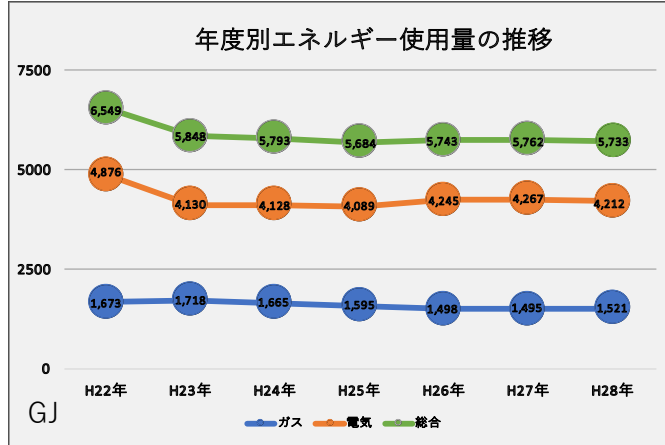
川口小学校の実習生たち



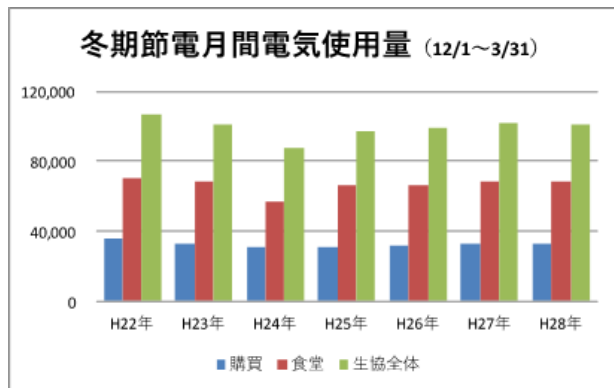
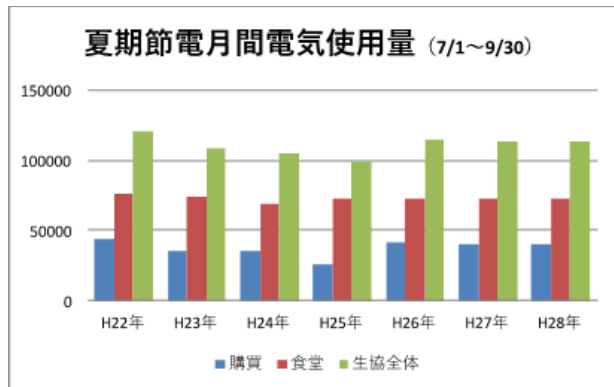
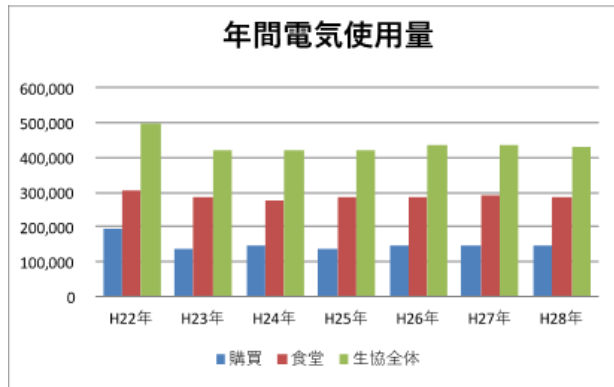
環境マネジメント活動の推進 大学生協での取り組み

大阪教育大生協の省エネルギーに関わる取り組み

年度別エネルギー使用量及び削減率の推移（対H22年度基準）



- 平成22年度から比較をすると平成28年度実績では12.5%削減できていますが、店舗改装などにより設備や照明も増え、平成25年以降は微増となっていました。
- 平成28年はSUNCAFEの照明をLED対応に交換しましたこともあり、3年ぶりに前年より1.27%削減できました。
- 今後も引き続き、事務所などを中心にした節電に努め、機器の入替の際には省電力のものを選定するなどの取り組みを勧めていきます。



生協の主な取り組み

- チェックリストによる省エネの推進
- 空調の温度管理
- 照明の一部消灯
- 定期的なエアコンフィルター等の清掃
- 事務機器の退席時主電源OFFの取り組み
- 学生会館3階の「SUNCAFE」の照明設備を改修→LED照明設備に交換

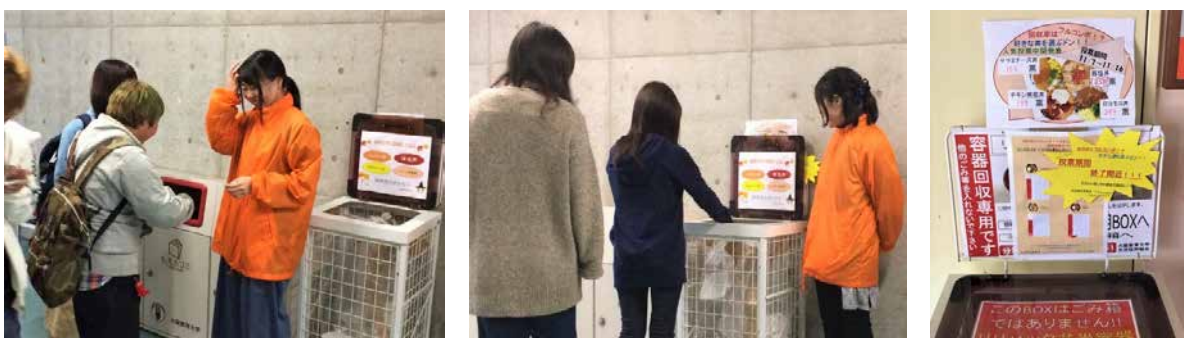


環境マネジメント活動の推進 大学生協での取り組み



■ 大阪教育大生協の環境保護に関わる取り組み 「リサイクルのとりくみ」

生協では、食堂で販売するテイクアウト弁当の容器としてリサイクル可能な「リ・リパック」を使用しています。2016年度は、生協学生委員会が「リ・リパックを通して環境問題に対する問題意識を持ってもらい、エコな環境形成の場を作ること」を目的にリサイクル促進企画を実施しました。リ・リパックの回収BOX横に学生委員が昼休みに立って、回収する容器を投票券としたテイクアウト弁当の人気投票を行ったり、学生委員会のTwitterを使ってリ・リパック回収を紹介する動画を紹介するなど、弁当容器リサイクルの呼びかけを強化を行っています。年間を通じた回収率アップには課題を残していますが、その後も継続してポスター等でリサイクルをよびかけています。



回収率はフルコンボ!?
好きな丼を選ぶドン!

テイクアウトショップや二階食堂で提供されているリリパック。実、はリサイクルできるんです。

今回はリサイクル活動とともに、数多ある中で、どのテイクアウト丼が人気なのか。それを明らかにすべく、テイクアウト丼人気投票を行います!!

代表選手紹介!

1. 豚塩丼
2. 千キン南蛮丼
3. ささみチーズ丼
4. 口コモコ丼

投票期間!
11月7日～
11月18日

投票期間中の回収率60%超えるといいことある…かも! みごと一位に輝いた丼には、何かご褒美が…!?

Twitter予選により決定!

Follow me!!!
生協学生委員会 @daikyougakui

容器回収専用です
他のゴミ等を入れないで下さい

リリパック弁当容器分別方法

○印のツメを折り曲げて...
容器本体(白) → 回収専用BOXへ

フィルムをはがします。
ふた・フィルム → ごみ箱へ

分別回収にご協力ください

大阪教育大学生協学生委員会 (学委)
@daikyougakui

【環境企画】
先日お伝えした、リリパックに関する素敵な動画がこちら!

その名も『環境ゼミ』☆☆☆

これを見ればリリパックがなぜ環境にいいかも、回収の仕方も全てわかる!

ぜひチェック&RTしてください😊

学生委員会のTwitter @daikyougakui



第三者意見

■ 京都大学との意見交換

平成29年9月7日、京都大学施設部の方々に
 本学「環境報告書2017」に対するご意見を伺
 いました。
 当環境報告書に反映できる点は改善し、その他
 の意見は来年度の環境報告書の作成の参考にし
 ていきます。



主な意見

回答

【表紙】

学内で撮影したものであれば写真の撮影場所と説明文
 を報告書のどこかに記載してはどうか。

もくじ下部に記載しました。

【もくじ】

大学公式キャラクターの配置？レイアウト？を工夫して
 はどうか。

キャラクターの配置を変更しました。

【2ページ】

報告書の対象範囲が柏原キャンパスに限定されているが、
 全学を対象とすべきではないか。

対象範囲については、来年度の環境報告書にむけての
 課題とさせていただきます。

【10～13ページ】

環境負荷データの対象範囲が柏原キャンパスだけの数値
 なのか、全学の数値なのか、不明確である。
 データが混在しているようなので、
 対象範囲を全学として統一した方がよい。

データごとに対象範囲を記載しました。
 対象範囲を全学とすることについては、
 来年度の環境報告書にむけての課題とさせていただきます。

【10ページ】

中水を何に利用しているか、明記した方がよい。

中水はトイレ洗浄水、散水等に利用しています。
 その旨を明記しました。

【10ページ】

特別管理産業廃棄物が処理完了とあるが、
 特別管理産業廃棄物のうちPCBが処理完了で、
 他にも特別管理産業廃棄物はあるのではないか。

数量を記載しました。

【13ページ】

廃棄物が大幅に削減されているが、
 減少理由が記載されていない。

減少理由を記載しました。

【15ページ】

PCB廃棄物は高濃度・低濃度ともに処理完了か。

PCBは高濃度・低濃度ともに処理を完了しているので、
 その旨を明記しました。

【20ページ】

スポーツ交流会と国際学生宿舎の話題について、
 環境との関連性を説明した方がよい。

説明を記載しました。

環境省 「環境報告ガイドライン（2012年版）」との対応一覧表



環境省「環境報告ガイドライン（2012年版）」	大阪教育大学 環境報告書2017
環境報告の基本的事項	-
1. 報告にあたっての基本的要件	-
(1) 対象組織の範囲・対象期間	大阪教育大学環境報告書2017の作成にあたって
(2) 対象範囲の捕捉率と対象期間の差異	大阪教育大学環境報告書2017の作成にあたって
(3) 報告方針	大阪教育大学環境報告書2017の作成にあたって
(4) 公表媒体の方針等	裏表紙
2. 経営責任者の緒言	学長挨拶
3. 環境報告の概要	-
(1) 環境配慮経営等の概要	大学概要
(2) K P I の時系列一覧	環境マネジメント活動の推進 ・ エネルギー削減の取り組み
(3) 個別の環境課題に関する対応総括	-
4. マテリアルバランス	マテリアルバランス
「環境マネジメント等の環境配慮経営に関する状況」を表す情報・指標	-
1. 環境配慮の方針、ビジョン及び事業戦略等	-
(1) 環境配慮の方針	環境方針
(2) 重要な課題、ビジョン及び事業戦略等	環境配慮実施計画
2. 組織体制及びガバナンスの状況	-
(1) 環境配慮経営の組織体制等	環境マネジメント組織
(2) 環境リスクマネジメント体制	環境マネジメント組織
(3) 環境に関する規制等の遵守状況	環境マネジメント組織
3. ステークホルダーへの対応の状況	-
(1) ステークホルダーへの対応	環境マネジメント活動の推進 ・ 地域社会への取り組み 環境マネジメント活動の推進 ・ 地域社会への取り組み 環境マネジメント活動の推進 ・ 学生の取り組み
(2) 環境に関する社会貢献活動等	-
4. バリューチェーンにおける環境配慮等の取組状況	-
(1) バリューチェーンにおける環境配慮の取組方針、戦略等	-
(2) グリーン購入・調達	グリーン購入法及び環境配慮契約法への対応について
(3) 環境負荷低減に資する製品・サービス等	環境マネジメント活動の推進 ・ 環境教育・研究の取り組み
(4) 環境関連の新技术・研究開発	環境マネジメント活動の推進 ・ 環境教育・研究の取り組み
(5) 環境に配慮した輸送	-
(6) 環境に配慮した資源・不動産開発／投資等	-
(7) 環境に配慮した廃棄物処理／リサイクル	環境マネジメント活動の推進 ・ 学内での取り組み
「事業活動に伴う環境負荷及び環境配慮等の取組に関する状況」を表す情報・指標	-
1. 資源・エネルギーの投入状況	-
(1) 総エネルギー投入量及びその低減対策	環境負荷データ
(2) 総物質投入量及びその低減対策	環境負荷データ
(3) 水資源投入量及びその低減対策	環境負荷データ
2. 資源等の循環的利用の状況（事業エリア内）	環境マネジメント活動の推進 ・ 中水利用の取り組み
3. 生産物・環境負荷の産出・排出等の状況	-
(1) 総製品生産量又は総商品販売量等	-
(2) 温室効果ガスの排出量及びその低減対策	環境負荷データ
(3) 総排水量及びその低減対策	環境負荷データ
(4) 大気汚染、生活環境に係る負荷量及びその低減対策	-
(5) 化学物質の排出量、移動量及びその低減対策	-
(6) 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	環境負荷データ
(7) 有害物質等の漏出量及びその防止対策	-
4. 生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況	環境マネジメント活動の推進 ・ 環境保全活動の取り組み
「環境配慮経営の経済・社会的側面に関する状況」を表す情報・指標	-
1. 環境配慮経営の経済的側面に関する状況	-
(1) 事業者における経済的側面の状況	-
(2) 社会における経済的側面の状況	-
2. 環境配慮経営の社会的側面に関する状況	環境マネジメント活動の推進 ・ 安全安心への取り組み
その他の記載事項等	-
1. 後発事象等	-
(1) 後発事象	-
(2) 臨時的事象	-
2. 環境情報の第三者審査等	第三者意見





大阪教育大学は、この自然に囲まれたキャンパスの立地環境を活用し、生きた教材として、優れた環境人材の創出を目指します。本学の学生・教職員の環境への取り組みにご理解いただき、ご指導、ご支援をお願いいたします。
環境報告書ホームページ：

<http://osaka-kyoiku.ac.jp/university/kikaku/houtei/index.html>

お問い合わせ先

国立大学法人 大阪教育大学

総務部施設課企画係

電話：072-978-3333

FAX：072-978-3345

mail：sisetuka@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

URL：http://osaka-kyoiku.ac.jp/